

高野山正智院 連歌資料集成

正智院 監修 [全2冊]

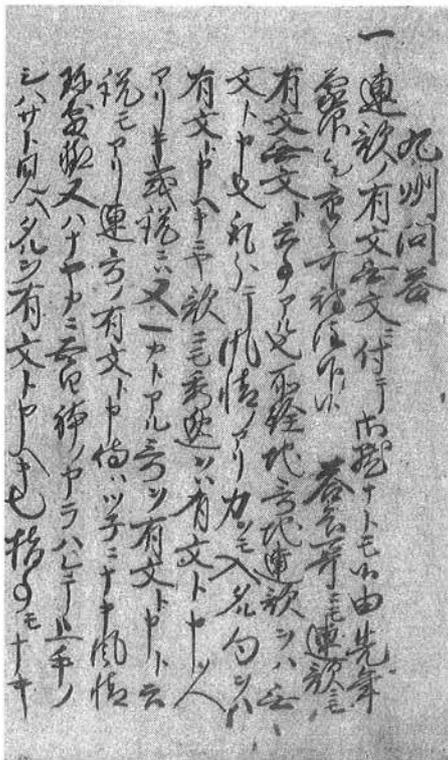
▼A5判・総八四〇頁／定価二一、〇〇〇円(税5%込)

ISBN978-4-7842-1690-1

【二〇一三年五月 刊行予定】

高野山正智院は平安時代創建の学侶方室門の筆頭寺院であり、江戸時代には有力大名の信頼も厚く、貴重な仏像、仏画、典籍などを多数所蔵している名刹である。

本書は、すでに発刊している経蔵史料集成一(正智院文書)および同集成二・三(正智院聖教目録上・下)(いずれも吉川弘文館刊)に続いて、当院に伝わる未発表の連歌資料の優品を影印本として刊行するものである。



上巻

刊行にあたって(正智院現住 長澤光倫)

九州問答(付連歌十様)

二条良基連歌論の孤本。文明四年(一四七二)乗日筆

一紙品定

天正二年(一五七四)奥書の善本。桃山時代写

連歌禁好之詞 室町時代末期写

金剛三昧院本を補完する、作者自跋を備えた善本

連歌初心抄 桃山時代写

『宗祇初心抄』。専順、宗祇等の新出句を付載

連歌用抄 室町時代後期写

『種玉庵仁兼載不審事』は新資料。『知連抄』付載

政長・宗伊・宗祇三ツ物 室町時代後期写

『畠山左金吾四季題万句三物』。未刊資料

解題

下巻

伊勢千句

宗長・宗碩両吟。室町時代末期写

四道九品

原形に近い系統に属する善本。桃山時代写

連歌至宝抄

天正二九年(一五九二)奥書の善本。桃山時代写

連歌新式 心前記

天正一八年(一五九〇)景義筆 心前の講釈に基づく『連歌新式』注釈書の最新資料

解題／正智院蔵連歌資料目録

(解題・目録 編集 石川真弘・長谷川千尋)

九州問答(一ウ)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723

http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	高野山正智院連歌資料集成		本体20,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1690-1
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				書店番線印	

中世歌書集

大取一馬責任編集

(6月刊行予定)

龍谷大学善本叢書31

龍谷大学図書館所蔵、写字台文庫旧蔵の歌書のうち、天下の孤本や、最古の写本、内容上意義深いものなど、貴重書と認められる5点の典籍を選び影印公刊し、解説を付す。

【内容】愚見抄／光闌百首／詞字注／自讃歌注／九代抄

【解説】酒井茂幸・吉田唯・小田剛・安田重雄・近藤美奈子

▶A5判・664頁／定価13,965円

ISBN978-4-7842-1688-8

詞源要略・和歌会席

大取一馬責任編集

龍谷大学善本叢書24

龍谷大学図書館写字台文庫所蔵の旧舟橋家旧蔵本より、室町後期の清原宣賢(1475-1550)による自筆『詞源要略』(孤本)と『和歌会席』の2点を収録。『詞源要略』は和歌に関する分類体辞書、『和歌会席』は和歌作法書であり、歌学史・辞書史、また宣賢の学問の研究に有益なものである。

▶B5判・280頁／定価19,950円

ISBN4-7842-1196-9

類聚古集 [全3冊]

秋本守英責任編集

龍谷大学善本叢書20

万葉集研究に不可欠の孤本『類聚古集』(国宝)を新撮によって全丁を完全収録し、原典の書写状態を完全に反映させた翻刻を影印と対照して併載。収録歌に通し番号を付し『国歌大観』(旧版)・『新編国歌大観』での番号も併記し、各句索引は本文のみならず朱書き・傍記・異本表記からも検索可能なもので逆引き索引も併載する。

▶B5判・総1800頁／定価59,850円

ISBN4-7842-1041-5

源通具全歌集

部矢祥子編著

各所に散在する源通具の歌を一巻に収め、詠作一覧、通具関係史料抄、源通具古筆切、和歌懐紙並びに消息、年譜、歌語索引、和歌索引を付す。特に克明な年譜は学界に未紹介のものであり、本書はいわば源通具に関する百科事典である。

▶A5判・236頁／定価6,090円

ISBN4-7842-0478-4

禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつその伝来の歴史を跡付ける。また、禁裏における歌学や古典文学の注釈・講釈に注目し、古典学の変遷を叙述する。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明らかにするのが本書の目的である。

▶A5判・344頁／定価5,880円

ISBN978-4-7842-1483-9

俊頼髓脳の研究

鈴木徳男著

『俊頼髓脳(としよりずいのう)』は、源俊頼の著した平安後期の歌書で、豊富な内容はのちの歌論や説話集に多大な影響を与えた。本書は、先行歌書や歌学的知見の受容という観点からその構造を分析、さらに享受面を考察し、『俊頼髓脳』の和歌史的意義を浮き彫りにしたものである。付録として伝本の性格を検討した二論を加える。

▶A5判・308頁／定価8,400円

ISBN4-7842-1296-5

典籍と史料

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書28

1961(昭和36)年、親鸞聖人大遠忌記念事業の一環として開設された、龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による、真宗学・仏教学・史学・国文学等の分野にまたがる広汎な仏教文化の最新研究成果。

【内容】『伊勢物語』業平時代の成立について／『統詞花集』考／社頭歌合の歌題構成と位署／和歌における『和漢朗詠集』の受容 他

▶A5判・686頁／定価8,925円

ISBN978-4-7842-1592-8

※中世の文学と学問

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書15

【内容】中世歌学秘伝の変容／木戸家流藤川百首注について／洞門抄物とそのことば／龍谷大学図書館蔵『俊頼口伝集』について／室町時代の句題和歌／枕草子の時空間／『夜の寝覚』における女君の行為「ふす」／章綱物語と増位寺／足利将軍邸の蔵書／中世末期から近世初期にかけての十三代集本文について／架蔵短冊資料点描 他

▶A5判・492頁／定価8,820円

ISBN4-7842-1271-X

※新勅撰和歌集古注釈とその研究 [全2巻]

大取一馬編著

藤原定家晩年の独撰になる新勅撰和歌集は、中世歌壇の主流派である二条家の人々に重んじられた。そのよみを深め、定家歌論の到達点や新古今集から新勅撰集への展開を確認するためには、古注釈を座右に備え、各註釈に対する知見も整理しておくことが要請される。その要請にまっすぐ取り組んだのが本書である。

▶A5判・総2342頁／定価47,250円

ISBN4-7842-0461-4

四十人集 [全3冊]

家郷隆文責任編集

龍谷大学善本叢書18

平安～鎌倉期にかけての歌人41人の私家集を書写した40冊の叢書で、澄月や小澤蘆庵の門人らが書写し、さらに蘆庵による朱筆の校合・訂正が加えられ、伝本研究のみならず蘆庵の仮名遣いの訂正など興味深い史料。全冊を影印で収め、各冊に収録分の解説を併載。

▶A5判・総2100頁／定価50,400円

ISBN4-7842-0970-0

実国・師光全歌注釈

小田剛著

千載・新古今歌人の一人である藤原実国(1140-1183)、源師光(生没年未詳)の全歌注釈を試みる。歌(詞書なども)の本文については、実国集「神宮文庫蔵本」、師光集「三手文庫蔵本」などによった。注釈は、校異、語注、(口語)訳、本歌・本説、補説・参考事項、類歌などを掲載。

▶A5判・606頁／定価18,900円

ISBN978-4-7842-1478-5

能勢朝次著作集 [全10巻]

能勢朝次著作集編集委員会編

近世の俳諧に始まり、遂に中世能楽の源流を究め能楽論の系譜を解析。名著『能楽源流考』を著した博士の全貌を窺う、能勢学の集大成。

【巻名】1巻:国文学研究/2巻:中世文学研究/3巻:近世和歌研究/4巻:能楽研究(一)/5巻:能楽研究(二)/6巻:能楽研究(三)/7巻:連歌研究/8巻:連歌俳諧研究/9巻:俳諧研究(一)/10巻:俳諧研究(二)

▶A5判・平均450頁/揃定価60,795円

社家文事の地域史

棚町知彌・橋本政宣編

神社史料研究会叢書IV

諏訪・伊勢・北野各神社の社家における和歌・連歌等の文化活動に焦点をにあて、その歴史的意義と実態をさぐる10篇を収録。

【内容】『守武千句』の時代/中西信慶の歌事/伊藤栄治・永運のこと/中島広足と本居宣長/伊勢御師の歌道入門/北野宮仕(中)という歌学専門職集団の組織と運営の実態/近世における地方神主の文事 他

▶A5判・340頁／定価7,875円

ISBN4-7842-1257-4

中世和歌の想念と表現

谷山茂著

【内容】歌の家/和歌史/幽玄/妖艶と幽玄/藤原俊成の研究/俊成の幽玄と優艶と長高/常識的天才藤原俊成/『千載集』類別伝本考/新古今一本歌考/後鳥羽院/藤原定家/「明月記」の一零本について/宗尊親王の文応三百首と未刊百首/伊経筆『三百六十番歌合』の新出奥書について/異本『忠盛集』解題/『公重集』解題 他

▶A5判・450頁／定価10,080円

ISBN4-7842-0786-4

中世近世和歌文芸論集

日下幸男編

龍谷叢書15

編者の華甲記念として、関西を中心に活動する近世和歌論研究会による初の論文集。現在の中世・近世の和歌研究に一石を投じる意欲作17篇。

【内容】建仁元年三月新宮撰歌合考/風雅和歌集における鳥/東常縁の歌学における常光院流の継承/中世から近世にかけての制詞の変容について/『新一人三臣和歌』攷/『小鳥うた合』をめぐって 他

▶A5判・432頁／定価6,300円

ISBN978-4-7842-1446-4

中古中世和歌文学論叢

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書9

四十人集(龍谷大学図書館蔵写字台文庫旧蔵)を調査・研究する過程において各執筆者が新たに見出した研究テーマ歌論書や歌合判詞、私家集、私撰集、古筆切など一通して、中古中世の和歌の理念や特質、古代和歌受容の問題、さらには作品の成立や解釈にかかわる問題、新出資料の価値や散佚私家集を解明する問題に取り組む。

▶A5判・300頁／定価8,190円

ISBN4-7842-0983-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。